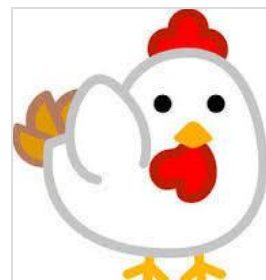


第189号

# ほほえみの会

2017. 1. 8



2017年新しい年を迎えました。酉年、「酉」という漢字はサンズイをつけると酒になり、酒つぼを描いたもので、収穫した作物から酒を造るという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということも表します。

そのことから、果実が成熟した状態を表しているとされています。また、「とり」は「とりこむ」と言われ、商売などでは縁起の良い干支といわれています。

また、岐阜県の子守金神社は子どもの咳にご利益のある神社と言われ、全快すると鶏の焼き物を奉納する風習があるそうです。鶏のご利益はいろいろあるようです。

これまでの治療が実る、いい年にしたいですね。

<253回 8/14 ほほえみの会> 6人が参加しました。

▼8歳、リンパ腫。元気な子だったがある日横腹が痛いと言って立っていられなくなった。総合病院で血液検査をしてこども病院へ。お腹に腫瘍があり手術をした。当初は良性の腫瘍ではないかと言われていたが、生検をしたところ悪性と判明した。まさかこんな病気とは。本人には半年で退院できると言っているが、病名についてどう話したらいいのか悩む。

▼4歳、急性リンパ性白血病。足が痛いと言っていたが成長痛と思っていた。高熱も出たので血液検査をしたところ白血球が異常値で貧血もありこども病院へ。今週から抗がん剤治療に入るが、母親は今24時間付き添っている。家には弟もいるのでいつから面会に変えようか悩む。また、食欲がないが病気なのか甘えなのかわからないのでどこまで言っているかわからない。

▼2歳、神経芽腫。保育園で変な歩き方をすると言われ近くの病院へ行ったが股関節炎ではないかと言われた。ほかの病院でも診てもらったほうがいいと言われ総合病院で血液検査をしたところそのまま救急車でこども病院へ。抗がん剤治療を始めたが具合が悪い時には病棟の子たちが気遣ってくれるのがありがたい。

<254回 9/11 ほほえみの会> 3人が参加しました。

<255回 10/9 ほほえみの会> 1人が参加しました。

<256回 11/13 ほほえみの会> 2人が参加しました。

<257回 12/10 ほほえみの会> 6人が参加しました。

▼1歳、急性リンパ性白血病。咳が2週間ほど止まらず青あざが出たのでかかりつけ医に行き血液検査をしたところ異常があり総合病院を經由してこども病院へ。

抗がん剤治療を始めたが面会中は子供がいつも泣いている。すべてが不安。でも親がいなくなれば泣き止むので甘えているのだと思う。ずっと抱っこをしていて歩かない。足が細くなって歩けなくなるのではないかと心配。歩かないのは足が痛いのか、勝手に悪い方に考えてしまう。入院して笑顔がなくなったのも気になる。

また離乳食から普通食になってすぐ入院したので野菜とか全く食べない。薬もなかなか飲まないで心配。

これに対し、参加者からは、ステロイドや抗がん剤で人格が変わったように笑わなくなった。でも薬を辞めたら元に戻った。最初はわからず不安だったけど大丈夫。

薬の影響で食べ物の好みも変わるし、その時に食べられるものを食べればいい。大きくなれば偏食はなくなる。薬はカプセルで飲ませたといった体験談が出ました。

母親は仕事を持っているが欠勤を続けている。仕事復帰し

て気持ちにメリハリをつけないとやっていけない気がする。自分の仕事を見つめなおすきっかけにもなった。

<258回 1/8 ほほえみの会> 3人が参加しました。

次回の「ほほえみの会」は 2月12日(日) 午前 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mail アドレス [k\\_likeda@yahoo.co.jp](mailto:k_likeda@yahoo.co.jp)

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>

定例会の様子はfacebookでも配信しています